

2024.12.25/ 2025.1.8 いずれも19:00-20:00 @オンライン
JSI企画研究委員会 学会活動促進セミナー

『年報』 投稿のご案内

稲永 由紀 (JSI副会長・年報編集委員長、筑波大学)

学会誌『インターンシップ研究年報』

- 創刊：1998年10月
- 発刊間隔：年1回
- 基本の記事編成：
「研究論文の部」「資料の部」「学会大会の部」
- 編集担当：年報編集委員会
- 『年報』は電子ジャーナルプラットフォーム(J-Stage)でも公開(第5号以降)
- 詳しくは、学会ウェブサイト (<https://js-internship.jp/journal/research-submission-regulations/>) へ

インターンシップ研究年報

2024〔令和6〕年

第27号

I 研究論文の部

〈研究ノート〉

大森 順子 企業がキャリア形成支援を実施する意義
— 社員の成長と育成に焦点を当てて —

II 資料の部

〈資料〉

日本インターンシップ学会2024年度企画研究委員会
インターンシップ専門人材の現状と課題
— 企画研究委員会中継取りまとめ —

木村 元彦 実施条件の違いに焦点をあてた専修大学インターンシップの効果
— 学ぶ意欲と学生生活の意識との関連を加えた一考察 —

III 学会大会の部

〈基調講演〉

山本 栄 インターンシップの「これまで」と「これから」
— 政策の変遷を概観する —

〈シンポジウム〉

インターンシップのこれから
— それぞれの立場からの思いを込めて —

コーディネーター	松高 政	(関西支部副支部長/京都産業大学)
シンポジスト	佐々木 ひとみ	(東京家政学院 理事)
	伯井 守	(大阪石材工業株式会社 代表取締役)
	西本 聡子	(特定非営利活動法人 大学コンソーシアム大阪事務局長)
	栗田 眞祥	(株式会社リクルート 就職みらい研究所 所長)
司 会	岩井 真実	(近畿大学)

日本インターンシップ学会会則
「インターンシップ研究年報」編集規程
「インターンシップ研究年報」第28号研究論文・資料等投稿規程
編集後記

日本インターンシップ学会

『年報』 投稿区分

• 投稿を募集するのは…

(1) 研究論文の部（科学論文ないしは学術論文）

- 「論文」…実証性、論理性、独創性があり、学術的価値があると認められるもの
- 「研究ノート」…学術的に萌芽的な内容で今後の展開が期待され、かつ価値があると認められるもの

科学論文ないしは学術論文の体裁を取らなくてもよい

(2) 資料の部（(1)以外のもの）

- 「資料」…学術活動に貢献する価値のある情報、重要な知見などを整理したもの
- 「事例紹介」…インターンシップ実践をもとに記述し、価値ある提言、結論を導き出したもの

(補足) 「科学論文ないしは学術論文」

- 基本的には、分野・領域を問わず共通して、
課題設定 (含：先行研究レビュー)
 - (仮説提示)
 - 分析 (検証) 方法
 - 分析 (検証) 結果
 - 結論 の順に提示されている内容を持つもの
- 「論があるから論文」ではない
- 「バスケットボールの試合でサッカーをしない」 (『年報』第15号)

『年報』 投稿資格、締切、提出先

- 第28号投稿資格
 - i. 日本インターンシップ学会の会員であり、2024年度の会費を2025年1月20日までに納入していること。
 - ii. 共著の場合、全員がi. を満たしていること。
- 第28号投稿締切：2025年1月20日（月）23:59 【厳守！】
- 提出先：日本インターンシップ学会 年報編集委員会
E-mail：jsi.edit@js-internship.jp
 - 原稿はパソコンのワープロで作成し（MS-WORD推奨）、電子メールに当該ファイルを添付して、提出

『年報』 投稿から掲載までの流れ

- 11月初旬頃 第1回編集委員会（記事編成確定）
- **1月20日 投稿原稿締切**
 - * この間、査読者選定・依頼、査読
- 3月上旬頃 第2回編集委員会（投稿論文審査）
 - * 本審査で採否が決まらなかった投稿については、1ヶ月程度での修正を求め、再審査へ
- 7月上旬頃 第3回編集委員会（投稿論文再審査）
- 8月下旬頃 完成原稿提出、印刷会社へ入稿
 - * 印刷会社にてゲラ作成。著者校は初校のみ。
- 10月末 発刊

『年報』投稿の際、気をつけること

- 書式など、投稿規程に定められていることは必ず守ってください！
- 剽窃、アイデアの盗用、データ使用权の侵害、データの目的外使用、など、研究倫理に反するようなことはしないでください！
 - 研究者の行動規範や指針などが所属機関・組織から示されていない場合は、日本学術振興会や一般財団法人公正研究推進委員会などのものを参考にしてください
(この2つにはeラーニング学習教材もあります)
 - 業務上知り得たデータを使用する場合は、各所属先のコンプライアンス関連規程に抵触していないかどうか、必ず確認してください
 - ヒトないしは人間に関わる調査をする場合、組織内にある研究倫理審査委員会での審査が義務づけられているところがあるので、必ず確認・受審してください

(参考) 『年報』投稿に際し、満たしていただきたいこと (『第28号投稿規程』3.)

- i. 他の学術雑誌に発表されたことがない、**未発表**のものであること。
- ii. 他誌へ投稿中の論文等または投稿する予定のある論文等でないこと
(**二重投稿の禁止**)。
- iii. 研究倫理を遵守し、執筆すること。
- iv. 調査研究の場合は、**調査対象者のプライバシーの保護**を最大限尊重し、**調査対象者が特定されないよう配慮**するなど**適切な予防策**を講じること。
- v. 調査対象者に実施した**倫理的配慮の内容**を、本文中に**明記**すること。

奮ってのご投稿を
お待ちしております